

DJ/MC/翻訳/通訳(アテンド)/落語家

CYRIL COPPINI(シリル・コピーニ)

1973年南仏ニース生まれ。高校時代に日本語の勉強をはじめ、高校卒業後、フランス国立東洋言語文化研究所(イナルコ)で日本語・日本近代文学をマスターし、1997年に修士号を獲得。大学時代に日本の文部省から奨学金をいただき、長野県松本市信州大学人文学部へ1年間(1995年-1996年)留学。イナルコ卒業後、1997年9月、フランス政府公式期間である「九州日仏学館」(福岡)に勤務。翌年「日本におけるフランス年」をきっかけに地元のラジオ局でフランス音楽の番組をスタート、福岡のクラブでDJ、イベントのMCとしての活動を開始。2001年に上京し、在日フランス大使館内アンスティチュ・フランセ日本に所属。

東京でも様々なラジオやTVに出演し、イベントの主催、CDの制作、プロデューサーの顔も持つ。2010年大阪の落語家・林家染太との出会いをきっかけに本格的に落語を教わる。2011年に開催された「落語国際大会in千葉」に出場し3位を獲得。外国語で落語を演じる三遊亭竜楽のフランス口演のコーディネーターや通訳で同行し、落語の海外普及にも積極的である。現在、老人ホームや福祉センター、フレンチレストランで月一のペースで落語の口演を行っている。

2014年7月5日～27日まで世界最大演劇祭『アヴィニョン・フェスティバル』で毎日23日間連続で落語口演を行います。

2013年よりマンガの翻訳活動も開始。落語をテーマにした漫画『どうらく息子』、『名探偵コナン』(第75巻より)、2013年10月よりアニメ化となった『のんのびより』などのフランス語翻訳担当となる。

C y r i l C O P P I N I
O F F I C E



落語家 CYRIL COPPINI (シリル・コピーニ) 尻流複写二

2010年から落語口演実績

らくごカフェ(神保町)／内幸町ホール／大江戸日本橋停／名古屋アリアンス・フランセーズ／くにさき市古代祭り(大分県)／常盤寄席(大阪)／サラヴァ東京(渋谷)／大江戸両国亭／アンスティチュ・フランセ九州(福岡)／タルゴ・ラグーナ(蒲郡)／京都市国際交流会館／角川介護センター(富山)／東長寺(曙橋)／品川総合福祉センター／杜の癒しハウス文京関口／長崎街道筑前飯塚宿ギャラリー幸袋(飯塚)／フレンチ・ダイニング(神楽坂)／さくらコート青葉町／アークリッシュ豊橋／いちほらカフェ(千葉)／桜ヶ池クアガーデン／アンスティチュ・フランセ東京

バイリンガル雑誌 「ひらがなタイムズ」4月号より

Japan Profiles

Cyril COPPINI
シリル・コピーニさん

Rakugo that Could Only Be Performed by a Frenchman

フランス人の 自分にしかできない 落語を



This is the 17th year since Cyril COPPINI, born and raised in Nice, France, began his career in Japan. In October 2011, while working at the Cultural Department of the French Embassy in Japan, he made his debut as an amateur rakugo performer. He currently performs once a month at nursing homes, temples, and special cafes that put on rakugo performances.

フランスのニースに生まれ育ったシリル・コピーニさんは、日本で働き始めて17年目を迎えました。フランス大使館文化課で働いていた2011年10月にアマチュア落語家としてデビューしました。現在、毎月1回のペースで老人ホームや、落語を上演する専門のカフェなどで活動を続けています。

Rakugo is a traditional form of comic storytelling that developed during the Edo period (17-19 centuries). A single performer in a kimono sits on a zabuton (a floor pillow) and acts out conversations between multiple characters by changing his voice, manner of speaking and facial expressions. Coppini started learning Japanese in high school, and while studying in a college in Matsumoto City, Niigata Prefecture, he grew to enjoy rakugo and wanted to be able to perform it himself.

落語は、江戸時代(17〜19世紀)に誕生した伝統的なお笑い草子です。物語を演じる芸人が座布団の上に座り、声や話し方、話す向きを変えながら1人で複数の役を演じます。コピーニさんは高校生で日本語を学び始め、22歳で長野県

松本市に大學生として留学したときに落語が好きになり、いつしか自分で話してみたいと考えるようになりました。

However, he realized that it would be difficult to train as an apprentice to a professional rakugo performer while holding down a job. It was then that by chance he met the professional rakugo performer HAYASHIYA Someto, who said to him, "Amateurs can do it, too." And so, he was instructed by Hayashiya for a year, and took on the name "Shitiru Kopini" – his real name creatively written in kanji.

しかし、仕事をしながらプロの落語家に弟子入りして稽古をすることは難しいと考えていました。そんなとき、プロの落語家、林屋染太さんとたまに知り合い、「アマチュアでもできますよ」と言われました。そして、1年かけて林屋さんから指導を受けました。本名を漢字に書いてはめた「[シリル]」と名を乗ります。

When introducing himself on stage, he explains his name in fluent Japanese by saying, "Shi-ri-ru means 'shiri-gu nagare-ru' (flowing from the butt). Kopini combines the Japanese word 'fukushi' (good), and 'ni' – the kanji for the number two." This is greeted by roars of laughter from the crowd.

Rakugo stories are typically tear jerking emotional dramas, or entertaining ghost stories, but Coppini is more skilled in the comedic form of rakugo.

実際の落語で自己紹介をするときには、「尻が流れる」と書いてシリル、コピーニは日本語で複写、二は漢数字の



二」と漢字のような日本語で説明し、客席の笑いを誘います。落語には、お客を笑わせるような人懐っこい落語家が出てくる落語家もありますが、コピーニさんは笑いが中心のこっけい話得意とします。

For his latest performance "Becoming an Apprentice" – which centers around a Japanese sushi chef and his French apprentice – Coppini has come up with a setting that is unique to him. The exchanges between the stubborn sushi chef and the apprentice, who mixes up recently learned complex Japanese vocabulary with inappropriate slang, elicits bursts of laughter from the audience.

「寿司屋」というシチュエーションでは、寿司職人と、彼の手で練習することになったフランス人弟子という、コピーニさんならではの設定を考えました。がんばるイメージのある寿司職人と、まだ大げさな日本語の習得と上手な日本語をまだ話してしまっている弟子のやりとりで、会場から大きな笑いが起こります。

To bring the joy of rakugo to a wider audience, Coppini also acts as both a translator and coordinator. In France, in 2011, Coppini performed alongside SANUYUJI Ryusaku – who tours internationally in European countries such as France, Germany and Italy, where he performs in the local language – at the professional rakugo artist's request. The following year he also held performances in Switzerland and Belgium – both French-speaking countries.

一方、コピーニさんは通訳コーディネーターとしても落語の楽しさを広める活動を行っています。フランスやドイツ、イタリアなどヨーロッパで定期的に海外の落語会を開催するプロの落語家、三浦卓也さんの依頼を受け、2011年にフランス公演に同行しました。翌年からは、フランス公演のリスボンやバーデンでの公演も実現しました。

"For these past ten years I've been introducing French culture to the Japanese, but now it's high time to do the reverse," says Coppini. While *kakushi* and *noh* plays have already been introduced to France and in Japanese anime and cosplay sub-

culture exists, "rakugo, a traditional theatrical performance which sits between these things, is not yet well known," explains Coppini. 「これまでの10年、私はフランス文化を日本に紹介してきましたが、そろそろ逆もやるべきだと思ったようになりました」とコピーニさん。すでにフランスには歌舞伎や能などの舞台芸術は紹介され、アニメやコスプレなどのサブカルチャーも知られていますが、「その中間にある大衆的な伝統芸術である落語はあまり知られていません」と話します。

Coppini says that he is going to continue his activities as an amateur rakugo performer. While working at an agency that aims to promote cultural exchanges between France and Japan, he says he wants to promote rakugo in France as a Japanese performing art. Released in France this March, the rakugo-themed manga "Doraku Musko" (The Disciple of Doraku), was translated by Coppini. He will be performing rakugo at the "Avignon Festival," the world's largest theatrical festival, held in July. Coppini says that his dream is that "if rakugo becomes more popular and people want to study it, I'll open my own rakugo school in France."

今後アマチュア落語家として活動していくと語るコピーニさん、日本とフランスの文化交流を促すための専門機関で仕事を続けながら、落語をフランスで広げていく活動に力を入れています。落語をテーマにしたまんが「どらくもすこ」をフランス語に翻訳し、3月にフランスで発売されました。また、7月に行われる世界最大の演劇祭「アビニョン・フェスティバル」で公演することが決定しています。落語の人生が中絶しないというニーズが高まった、フランスに専門学校を設立したいんです」とコピーニさんは夢を語りま

世界最大演劇祭「アビニョン・フェスティバル」 2014年7月5日〜27日、毎日、口演を行う。

RAKUGO TOKYO EXPRESS JOURS PAIRS

Contes traditionnels
Spectacles en français et japonais sous-titré



Le Verbe Fou Du 5 au 27 juillet 2014
95, rue des Infirmeries 84000 AVIGNON
Réservations : 04 90 85 29 90 www.leverbefou.fr
14 € Plein Tarif - 10 € Tarif carte off - Tarif enfants et Cies : 8 €
JOURS IMPAIRS RAKUGO OSAKA EXPRESS

Cyril COPPINI
OFFICE



[illegible]

「マクラもオチもテレビアン！」
 落語家アマチュア落語家 新作披露

「マクラもオチもテレビアン！」
 落語家アマチュア落語家 新作披露

「マクラもオチもテレビアン！」
 落語家アマチュア落語家 新作披露

「マクラもオチもテレビアン！」
 落語家アマチュア落語家 新作披露

[illegible]

ラジオデイズ
ラジオは、
人々の心を最も強く動かすもの

ラジオデイズは最新の音質のダウンロードサービスです。
オリジナル番組の配信、録音、配信の仕方となる
音声コンテンツもご提供いたします。

**ラジオデイズの
サービス**

↓詳しく知る

落語・笑い

対談・講演

交遊・経緯
オーディオブック

学習・趣味

サウンド

電子書籍
ラジオリス

HOME / 落語・笑い / 林美都

落語・笑い / 林美都

落語
複写二

林美都
辰風綾芽二（海苔菜・タレント）
価格： ¥300

00:00

★★★★★
(1 real time)

評価する

収録時間： 17分00

データ容量： 15.05MB

販売形式： スロウコアブ

リリース日： 2011年11月01日

カテゴリ： 落語・笑い

作品の収録デバイス： **レビュム (8)**

フランス人のアマチュア落語家、辰風綾芽二(シニール・コピーニ)が語る全篇日本語の落語

子供とどう接するに悩むのは、フランス人でも日本人と同じこととどの程度が異なるのか。

物にそのものの価値を、また言葉でそれをさらにとくちくち、添えて伝える元気があふれる。なかなか聞けないけれど、そこでまであつたあつた手書きの原稿をひらいてみると、何となく涙がこぼれそう。

【収録デバイス】レビュム (iPhone, iPad対応)、遠隔配信専用クラウドストレージ (iPod, iPad, Android対応)、遠隔配信専用音楽プレイヤー (Smartphone対応) 第2版 (iPhone, iPod touch対応) はできません。お手持ちのデバイス/ソフトウェア/ハードウェアは、必ずお持ちのデバイス/ソフトウェアと互換性があることを確認してください。



ラジオ・TV CYRIL COPPINI(シ rilル・コピーニ)

●ラジオパーソナリティ

2011年5月～2012年3月
2010年1月～12月
2007年～2009年
2005年～2007年
2002年～2004年
1998年～2001年
1998年～2000年

●ラジオレギュラー出演

2004年～2007年
2010年～現在

●ラジオ特番

2013年
2008年
2004年
2001年

●TV出演(レギュラー)●

2008年～2009年
2007年～ 現在
2007年～2008年
2006年～2008年
2002年

●TV出演(特番)●

2011年8月
2009年
2006年
2001年

TFM(JFN全国ネット)「jeepstyle radio」

InterFM76.1「アルファサウンズ」

文化放送デジタル93.10ch UNIQUE THE RADIO「フランサクチューブ」

InterFM76.1「PSA フレンチ」

NHK ラジオ国際部

九州国際エフエム(福岡)

Free Wave 天神エフエム(福岡)

ラジオ日本「外人さん大指摘! 爆笑 ニッポン人の急所!」

文化放送「くにもるジャパン」(「音楽マスターピース」コーナー)

J-Wave25周年「Pazz & Jops」SP(コーディネーション/通訳)

文化放送 日仏交流15周年記念特番「ザ・ステージ アミティエ 150人の言葉」

J-Wave Week-end Special「地中海クルーズ」

J-Wave「フランス音楽特集」

NHK教育「ビタミンETV」(司会者)

NHK国際放送「TOKYO EYE」(レポーター)

CX「NIPPON @WORLD」(コメンテーター)

NHK「フランス語会話」音楽コーナー担当

BSフジ「お台場トレンド市場(マーケット)」(コメンテーター)

CX「ホンマでっか?!TV」(コメンテーター)

NHK「英語でしゃべらナイト」(ゲスト)

NHK「世界遺産の旅・フランス」共演:加藤紀子(司会者)

BS 朝日「Harajuku ロンチャーズ学院」(ゲスト)

C y r i l C O P P I N I
O F F I C E



CYRIL COPPINI (シ ril・コピーニ)

CDと音楽イベントプロデュース・アーティストアテンド

●CDプロデュース

2013年 「地中海ヴァカンス・リバイバル」
 2010年 「ラ・キャラバン・パス」日本CD デビュー
 2007年 「地中海ヴァカンスVol 1」
 2005年 早聞き時事 フランス語 / Les News à vitesse grand V
 2002年 邦楽と韓国音楽2 枚組みCD (フランス国営放送)

●音楽イベントプロデュース

2011年～現在 Balkan Beats Tokyo
 2010年～2013年 La Caravane Passe 日本公演
 2004年～2007年 Medvacances～地中海ヴァカンス～

●アーティストアテンド

2005年～現在
 ジェーン・バーキン (ポップス)、アモリ・ヴァッシリ (テノール)、ドミニク・フィヨン (ジャズ)、エリック・レニーニ (ジャズ)、
 ラ・キャラバン・パス (WM)、DJクリック、テテ (ポップス)、DJロバート・ショコ、DJタガダ、
 ワックス・テラー (ヒップホップ)、ジブシー・サウンド・システム (DJ) など多数



Cyril COPPINI
O F F I C E



CYRIL COPPINI (シリル・コピーニ) マンガ翻訳

2013年よりマンガ翻訳活動開始。

●実績／フランス国内発売中または発売決定作品

名探偵コナン (第75巻) 2014年4月18日発売

どうらく息子 (第1巻・第2巻) 2014年5月22日発売

のんのびより (第4巻) 2013年10月より発売／第5巻 2014年3月より発売

竜は黄昏の夢を見る (第1巻・第2巻) 2014年5月発売予定

150センチライフ (第1巻・第2巻・第3巻) 2014年5月発売予定

日本人の知らない日本語 (第3巻) 2014年5月発売予定

●実績／フランス国内発売予定

名探偵コナン (第76巻・第77巻・第78巻)

どうらく息子 (第3巻・第4巻)

Night Walker – Cat of Albarose (第1巻・第2巻・第3巻)

見えるんです (第1巻・第2巻)

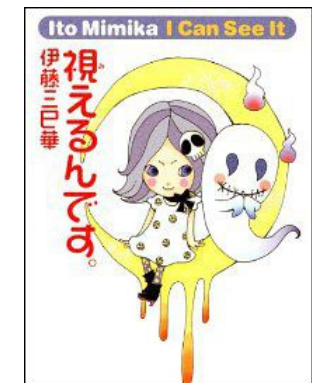
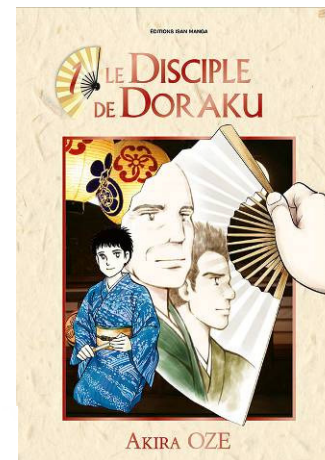
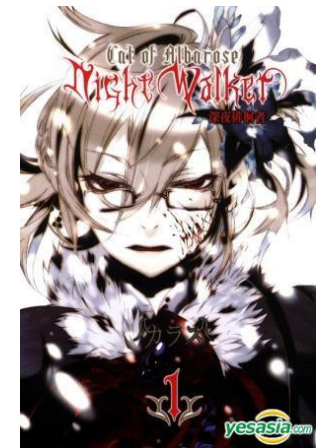
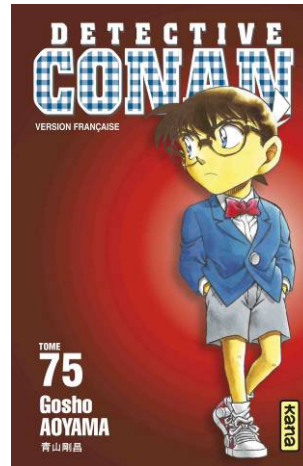
東京ルームシェア

30才、処女なのにエロ漫画を描いてます

名探偵コナン (第79巻)

女どうしだもの (第1巻・第2巻・第3巻)

アタゴオル～猫の森～ (第1巻～第6巻)



Cyril COPPINI
OFFICE

